

一般社団法人全国専門学校情報教育協会(研修委員会)  
平成31年度 研修ニーズアンケート  
理事長・校長

●調査時期  
平成31年3月15日～平成31年4月15日

●発送数 71 件(校)

●回答数 21 件

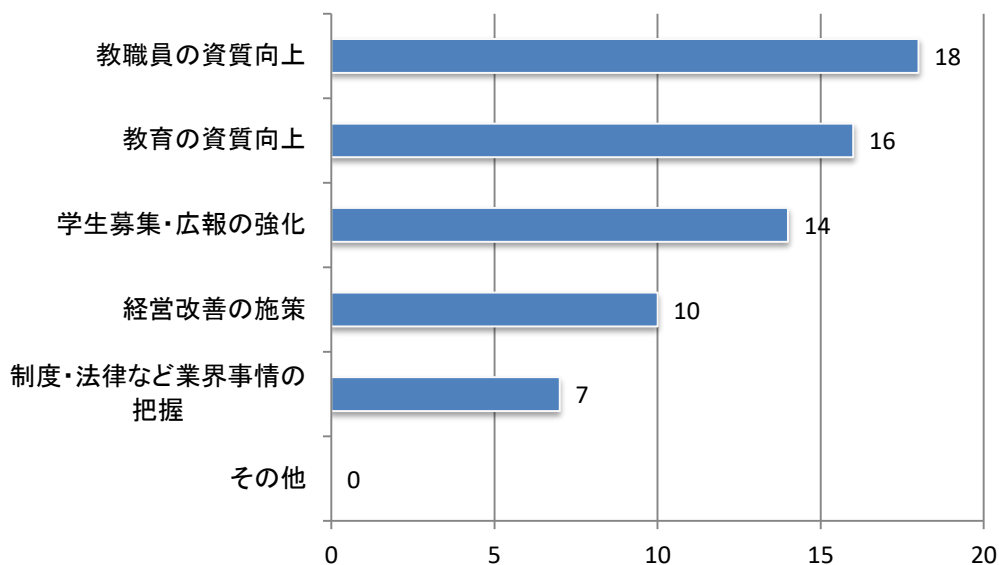
●協力校数 19 校

●回答率 26.8 %

問1. 学校経営上の課題として、緊急性が高いと感じているものに○を付けてください。

S.no	項目	回答	%
1	教職員の資質向上	18	85.7%
2	教育の資質向上	16	76.2%
3	学生募集・広報の強化	14	66.7%
4	経営改善の施策	10	47.6%
5	制度・法律など業界事情の把握	7	33.3%
6	その他	0	0.0%
	合計	65	-

※%の母数は回答者数(=21)、複数回答、回答多い順に並べ替え



問2. 職業実践専門課程導入にあたり、抱えている問題・課題等がございましたらお書きください。

- ・学校評価結果を検証し学校改革へ結び付ける手段
- ・教員確保、質向上
- ・委員会の運営について(企業委員入れ替えのタイミングや会議内容のマンネリ化等)
- ・企業との連携の不十分さ
- ・企業連携の講師手配および、成績評定マネジメントやカリキュラム連携の工夫
- ・教員不足
- ・教職員の認定の重要性、効果の認識の低さ
- ・自己点検の効果的な運営…自発的な取り組みまで達していない
- ・授業料負担軽減に関する情報、申請方法、適用後の事務手続きなど具体的な取り組み
- ・情報系のインターンシップ先もしくは授業の確保
- ・職業実践専門課程における企業連携をした際の学生の評価方法について
- ・職業実践専門課程認可後の学科改編
- ・連携授業の在り方。学校評価について。

**問3. 現在困っていることや、抱えている問題・課題等がございましたらお書きください。**

- ・「教育の質」の維持・向上に向けた取り組みについて
- ・学校評価結果を検証し学校改革へ結び付ける手段
- ・教員確保、質向上
- ・高校、中学、小学校からのIT系職種への希望者増に向けた啓蒙活動
- ・初等教育現場の教職員向けIT業界の将来像などの周知活動
- ・高等教育機関と企業側とのギャップを埋めるためのプログラム開発
- ・広報データの蓄積と活用方法
- ・語学(英語)とIT技術の両方が経験できる海外研修
- ・海外インターンシップ(IT・ゲーム・CG)
- ・奨学金を生活費に充て学費の支払いが滞る保護者対応
- ・権利意識が強い保護者や学生対応
- ・専門教員の人材確保および人材育成(専門能力開発)
- ・経営企画業務の担当者の人材育成
- ・学校法人としての事業の多角化戦略について
- ・企業でいう経営企画的業務を担当する人材の不足
- ・IT系職種の将来に希望を抱かせる資料等の整備、啓蒙活動(自動車整備も)
- ・海外、特にアジアでの学生募集の取り組み
- ・今まで以上に実践的な企業連携
- ・海外、特にアジアでの学生募集の取り組み及び留学生の管理
- ・海外留学生の学生募集の方法
- ・教員のレベルアップ
- ・県都に人口や文化が集中する中での地方校の取り組みについて
- ・組織作り・若手人材不足(教員希望者がいない…)
- ・留学生対策(募集・指導等)

問4.学校経営上の課題を解決するために、どのような研修・セミナーがあったら良いと思いますか？

S.No	研修テーマ	内容	形式	対象者	日数	実施時期
<b>■教員の教育力向上：技術習得、技術情報交換、組織的な資質向上など</b>						
1	AI・ブロックチェーン・スマートホーム	授業への取り入れ	セミナー	1～2名	1～2日	土or日
2	AIの教育内容	実践的なAIの教育事例の紹介	座学・実習	教職員	1日	8月
3	ICT	教育のICT化への対応	-	教員	1～2日	春
4	IoT・ICT・AI等をカリキュラムに導入事例		セミナー	部長クラス		夏休み
5	Society5.0時代の教育について	Society5.0時代の教育について、どのようなことが求められ、期待されているか。	今後の社会のトレンドや行政が行う専修学校に対する施策等のセミナー（情報収集型）	学校長、学科長、教員	1～2日	夏
6	数学マネジメント		講演形式			
7	事務省力化	RPA	セミナー	教職員	1日	
8	教育機関の視察	先進的な教育を行っている大学・専門学校等の視察	視察 意見交換	中堅教員	2日	
9	教育の質保証	今後の質保証について。展望。将来。	講演形式			
10	教員のスキル向上	教育力の測り方		管理職	2日	
11	教員のスキル向上	低学力または学習経験が乏しい学生の教育方法		管理職	1日	
12	教授法	アクティブ・ラーニング、反転授業、IT活用教授法など		教員	2日	夏期
13	教職員パソコン研修	マックの使い方。Googleの応用など。	実習	教員	1日	夏
<b>■経営・運営課題</b>						
14	経営課題を解決するデータ活用	課題解決のためにどのようなデータを収集して分析すればよいか	情報収集型	教職員	2日	夏/冬
15	経営事例研究	特色のある経営事例発表	セミナー形式	経営者	1日	夏
16	社会のトレンドを踏まえた専修学校の在り方	行政や社会のトレンドを踏まえて、今のような分野が伸びているのか、これから伸びそうなのかについては講座	セミナー	理事長、学校長	半日	特に無し
17	小規模校における特色ある運営	少人数の学校における教職員のスキルアップや地域連携等についての事例	他の教育機関等の情報収集等	全教職員	3日	4月
18	第三者評価	第三者評価受審事例	セミナー（情報収集型）	管理職	1日	夏期

■経営・運営課題						
19	学生募集に効果的な広報戦略(マーケティング要素含む)	学生募集の考え方、最新の募集戦略、オープンキャンパスの持ち方	セミナー形式	広報担当	1日	秋
20	学生募集	ビックデータを活用した学生募集(学校で持つデータだけではなく公共データを活用)	セミナー・グループディスカッション	経営者 広報	2日	随時
21	学生募集	リカレント生対象の広報戦略		広報担当 教職員	1日	春
22	学生募集	インターネット、SNS等の活用など	セミナー	1~2名	1~2日	土or日
23	マーケティングリサーチ	自校他校分析を行い、自校のどの部分が最大価値を生むのかを確認し、その最大価値を活かす実践作を練り上げ、戦術を実行に移すフローを行う	自己参加型GD	教職員	3日	夏/冬
24	今後の環境変化	今後の社会変化における教育の変化や人材、職業の変化についてヒントを頂きたい		経営者 ~管理職	1日	
25	業務改善の実例	業務の効率化を進めるうえでの成功例、失敗例など	セミナー形式	校長、管理職	1日	適宜
26	働き方改革実例	教職員の働き方を変える成功例、失敗例など	セミナー形式	校長、管理職	1日	適宜

問5. 視察してみたい場所(国内外)、内容の概略、適当と思われる期間(日数)を教えてください。

S.No	視察地	視察内容	何月頃	期間
1	フィンランド	教育機関を視察し、AIの教育への取り組みを学ぶ	9・10月頃	5日くらいで
2	フィンランド	職業大学	10月頃	6日くらいで
3	海外	IoT・ICT・AI等をカリキュラムに導入しているファッションデザイン系の学校視察	8月頃	3泊5日
4	大学	教育の質向上と学修成果を出し、学生募集に成功している大学への視察や意見交換		
5	北海道	北海道情報大学の学習者個別型eラーニングシステムPOLITE	8月頃	2日くらいで
6	エストニア			5日くらいで
7	最新IT技術・最新教育事情・最新ベンチャー企業			6~7日くらいで
8	国内先進校			